

肩関節

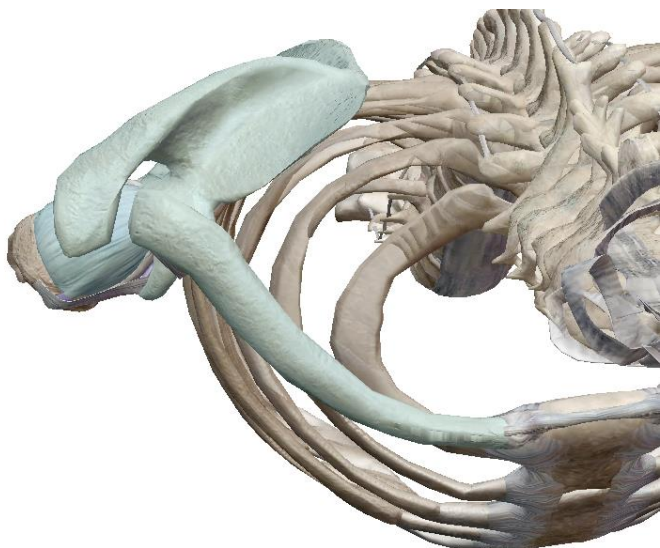
C-C

メカニズム



1分 study

目次



1 C-Cメカニズムについて

2 臨床のコメント

● ●
簡単 に解説します!!

要約の参考文献

【肩関節拘縮の評価と運動療法】

【プロメテウス・コアアトラス】

執筆：赤羽根 良和先生

監訳：坂井 建雄



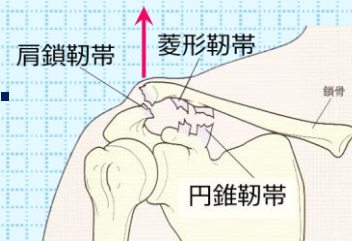
CCメカニズムとは？

C-Cメカニズムとは？

C-Cメカニズムの役割は**烏口鎖骨靭帯の純粹な役割と同じ**であると考えてOK.

烏口鎖骨靭帯の復習

- ・ 肩甲骨を吊り下げていること.
- ・ 鎖骨外側端の上昇防止をしている.
- ・ 鎖骨と肩甲骨の動きの調整と緩衝作用がある.



鎖骨と肩甲骨の動きの調整

知識

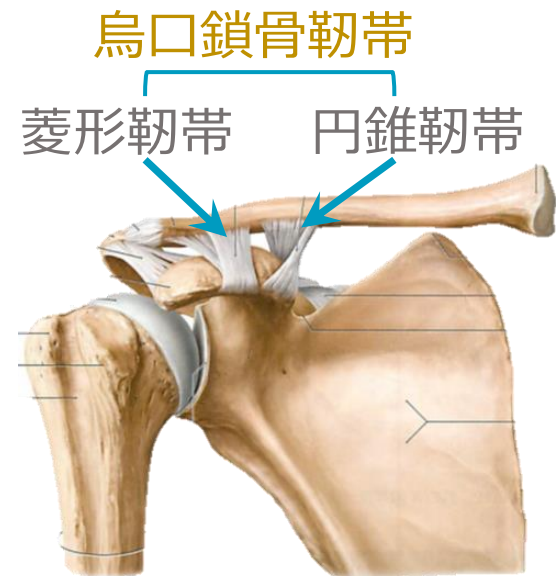
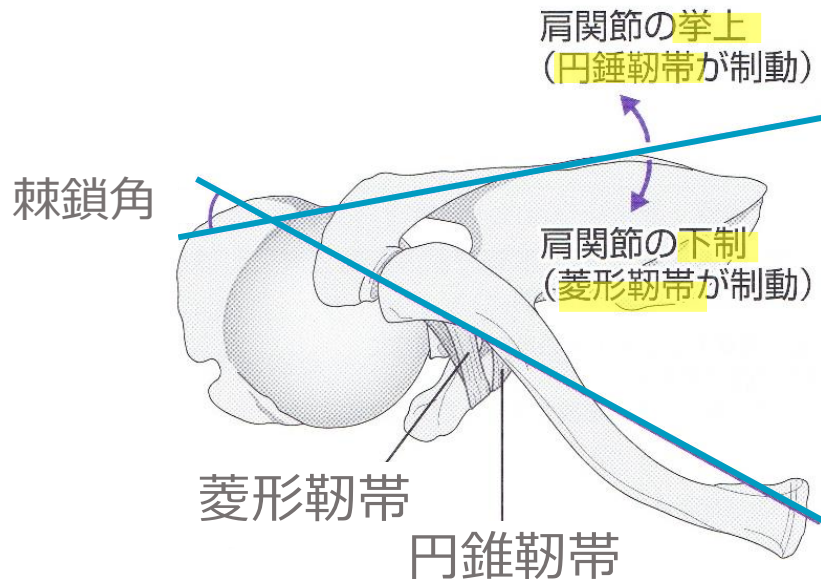
C-Cメカニズムは烏口鎖骨靭帯により，肩鎖関節と胸鎖関節の動きの調節をする機能である。

円錐靭帯

棘鎖角の増大(肩関節の挙上).

菱形靭帯

棘鎖角の減少(肩関節の下制).



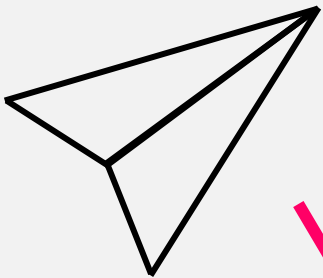
臨床の声

- 1 臨床では、肩鎖関節の可動性が問題になることが多いですね。臨床推論の1つにC-Cメカニズムが関係しています!!
- 2 肩甲骨が回旋すると同時に烏口鎖骨靭帯が伸張されて、鎖骨が回旋します。
- 3 上肢の挙上で鎖骨が後方回旋するためには、この靭帯の正常な機能が発揮されなければなりません。
- 4 この靭帯が拘縮すると、適切に運動が介達されず、臨床上の可動域制限の問題となります。

最後までご覧いただき
ありがとうございました



2回タップして
いいね！してね



を押してストーリーズでシェア👍
友達に広めてもらえると凄くうれしいです!!

保存するといつでも閲覧できます